

清掃審議会 第3回第一分科会 記録

日 時	平成 13 年 6 月 1 日 (金) 午前 10 時 ~ 午後 12 時
場 所	区役所西棟 10 階 A・B 会議室
出 席 者	藤井座長、小川委員、小澤委員、鈴木委員、松原委員、本橋委員
欠 席 者	柏原委員
議 題	(1) プラスチックの処理のあり方 (2) 早朝・夜間収集について
発言要旨	別紙のとおり

杉並区清掃審議会 第 3 回第一分科会発言要旨

事務局 挨拶

座長 挨拶

前回からの問題点として、プラスチック収集の検討の件。第 2 分科会との技術の話に関連しており、容器包装リサイクル法に基づいて、分別収集をするかということである。収集サービスということで早朝夜間収集。

事務局 配布資料説明（省略）

プラスチックの分別収集について

座長 各自治体でプラスチック、ペットボトル以外のプラスチックを集める自治体の現状はどうか、もし杉並区でも実施した場合、どういう効果があり、どの程度コストがかかるのかということ。

委員 プラスチックは発生源をいじらないで処理しようとするから、ますます難解になる。杉並のごみがどこの処理施設へ、どういう形で持っていったら経費はいくらぐらいなのか。どのぐらいの量を持ち込んだら、どれぐらいの費用になるのかといった数字も判断材料としたい。

座長 容リ法対象その他プラスチックを分別収集する場合、区民に細かい分別が協力していただけるか疑問。

委員 杉並のように人口が多く、多種多様なライフサイクルのところで、分別を徹底するのは困難。

座長 兵庫県のある地域ではコミュニティが成立していて、住民が一生懸命に分別に協力している。杉並区のような、隣の人知らないというような状況で、コミュニティ活動がどの程度できるのか疑問を感じる。

委員 プラスチックの処理については、ダイオキシンの問題が伴う。

座長 プラスチックを燃焼すると、炎の温度がかなり高くなるものの、局部的に燃えない場所ができるため、ダイオキシンが全く出ないという保証はない。そのため、特別な装置が必要となる。

座長 現在、杉並工場では、バグフィルターを設置中。

委員 設置した場合、どうなりますか。

事務局 従来、杉並工場では、プラスチックを燃やしてもダイオキシンが出ないように温度管理をしており、さらにバグフィルターを設置することで、ダイオキシンを除去できる。

座長 今の技術であれば、ダイオキシンは大きな問題ではないと言っていいと思う。

座長 プラスチック処理の考え方として、プラスチックの完全な処理ができ、区民の了解が得られるなら、プラスチックを清掃工場で焼却するケースも考えられる。

高炉原料として処理する場合、杉並区で処理施設を持たなくてもできる。ただし、受入施設が将来ずっと処理してくれるのか疑問。

プラスチックの処理について、技術処理方式、分別収集方式別に代替案を考え、評価できるものをつくっていただきたい。

事務局 世田谷清掃工場の建て替えでは、溶融化炉に決定したと聞いた。炉の方式にも2、3通りあり、現在、比較検討しているとのこと。その辺を含めて調べてみたいと思う。

委員 武蔵野市のプラスチック分別収集の事例について、詳しく聞きたい。

事務局 武蔵野市では土日を除き、5日間毎日収集が来る。可燃ごみが週2回、不燃ごみが1回、資源が1回で、品目は新聞と段ボールと雑誌、同時に有害ごみ、電池、蛍光管を集めている。そして、プラスチックとしてペットボトルとその他プラスチックを週1回収集している。

座長 次回、杉並区のほうで、武蔵野市に聞いていただき、詳しく情報を入手してください。特に市民の協力度とか、市民の満足度とか、逆に不平とか不満などの話を聞きたい。

委員 久喜市がコンポスト処理をやっている。少しその辺も具体的に聞きたい。

委員 ごみの問題について、住民自身、あまり危機感を持ってない。区がプラスチックの分別回収の方式を考えていると知ったら、本来、「どの程度の負担がかかる」、「税金でやってもいいじゃないか」、「税金を負担している人の公平性からいって、ごみの有料化にもつながってくる」などの、いろいろな議論がされると思う。しかし議論をするだけの材料が、区民に提示されていない。

委員 武蔵野市がプラスチックの分別回収を実施しているのに、なぜ杉並区ができないのかと考えなければならない。だから武蔵野市がどうやっているか、導入するときどんな苦労があったのかというのを知りたい。

座長 プラスチックを全て燃やしたら、市民としては楽かもしれないが、費用は高くなる。燃やすことが問題解決になるのか疑問。

座長 環境NGOだとか、杉並区内の中でそういうアクティビティーみたいなものはどうなっているか。そういう方々がどういう活動をされてとといった話は、データはないのか。市民活動はあまり把握されていないのか。

事務局 正確には把握はしていない。

座長 日本では納税者の立場というのは議論にならないことが、気に掛かる。

委員 ここで考え方を転換しなければならない、今いいチャンスだと思う。清掃事業費をどのように使うか。少しでも節約して、その分を介護の問題など区民が求

めているサービスに利用する。

夜間・早朝収集について

事務局 夜間・早朝収集の事例を挙げた。この事例については、三鷹市で早朝夜間収集のモデル事業を行ったときのアンケートをまとめたもの。夜間・早朝収集をした場合のメリットとしては、きれいな朝を迎えることができる、カラス対策、渋滞の軽減、交通事故の減少ということがある。デメリットとして、騒音、集合住宅に対してどういう管理体制を行っていくかがある。

事務局 回答の結果、8割以上の方が夜間早朝収集に賛同しており、昨年10月から、三鷹の駅前の商店街が中心で実施している。

23区内では、自由が丘、歌舞伎町、渋谷、銀座で夜間・早朝収集を実施している。杉並区でもパールセンター商店街振興組合、一番街、すずらん通り3つの商店会で、平常の作業より若干早い時間帯、7時半からの収集を実施している。

早朝・夜間収集を実施している地域は、商店街、繁華街といったところが多くなっている。

座長 杉並区で過去に夜間・早朝収集について市民調査をやった経験はあるか。

事務局 昨年7月に実施している。その結果、一番多い意見は、今のままの収集体制でいいというのが30数%、次いで、夜間収集が25%程度であった。

座長 夜間・早朝収集によって収集コストは高くなるのか、民間企業の場合、時間が平滑化されるということで、コストは安くなるのではないかと思うのですが。

事務局 確認したところ、夜間の割増しにより5割ぐらゐのコスト増になっている。

委員 世田谷区清掃審議会で早朝収集を一部で始める。区内全域に広げるには騒音の問題、清掃工場の受入態勢の問題があり、直ちに実施するのは無理。しかし、下北沢、三軒茶屋、二子玉川では、既に早朝収集を実施している。

事務局 世田谷では、収集時間自体はそれまでの8時から30分早くしただけだが、対象の地域を拡大している。

座長 収集などのサービスの問題では、サービスする側の硬直性が、一番大きい問題となる。

事務局 区民の生活パターンは様々で、早朝と昼間両方収集してほしいという話になると、コストが余計にかかる。

座長 区民が収集などのサービス向上を本当に望むならもっと意欲を出して、やって欲しいという声になると思う。

事務局 現在、家庭系ごみの収集について、収集時間を一定の時間帯にしてほしいとの要望を、最も多く受けている。

事務局 朝の一番に全部の地域を収集することは物理的に不可能。

委員 区民の要望と、実際に収集をする人たちとの間のギャップを、どうやって埋めていくか。これも1つのテーマだと思う。

委員 渋谷では、早朝ごみ収集の実施によりまちが、非常にきれいになった。

座長 事業系のごみについて、費用はどうなっているかまとめて下さい。分別収集の試算では、収集方式と処理方式、行政内部の課題も含めた課題をまとめて下さい。

座長 杉並区のコンビニというのはどのくらいごみを処理していて、あそこのごみを捨てる機能を知りたいと思う。